

ミッドワイフトーク

助産師だより

ホーム
ページ版
Vol.9

平成31年3月 第20号
公益社団法人栃木県看護協会
宇都宮市駒生町 3337-1 とちぎ健康の森4F
TEL 028-625-6141
発行責任者 渡邊 カヨ子

ごあいさつ

助産師職能委員長 佐藤 君江

会員の皆様、そして栃木県の助産師の皆様、栃木県の周産期医療にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。また、栃木県看護協会の活動にご協力いただきまして感謝申し上げます。助産師職能委員会は栃木県の周産期医療の向上や助産師の皆様が活躍できますよう意見集約や課題発見に努めております。情報共有の場としてホームページを作成し、活動報告や施設紹介など閲覧できるようにしております。2020年CLoCMipレベルⅢの更新にむけて、研修受講や書類の準備を始めましょう！助産師の皆様、ふるって申請いたしましょう！

皆様が生き生きと働けるお手伝いができますよう今後も活動してまいります。

掲載記事募集中！

栃木県看護協会ホームページから
助産師職能委員会宛にお送りください。
<http://www.t-kango.or.jp/>

委員会活動



看護大会

H30.5.12

ハンドマッサージを行い、たくさんの方が参加して下さいました。



助産師職能集会

H30.6.23

助産師職能委員会の活動報告と三職能委員会合同で研修会を開催しました。



新人助産師研修

H30.9.7 ハンドケア 22名

H31.1.18 乳房ケア、
母乳育児支援 22名

技術の習得および新人同士の交流を深めることができました。



ヒューマンフェスタ

H30.11.10 365名

「人権・やさしさ・命の大切さ」をテーマに開催されました。お子さんを連れた家族が多く来場され、産声と胎児心音に耳を傾けたり、妊婦疑似体験をしました。



産科管理者交流集会

H31.1.18 11名

栃木県助産師相互研修事業の一環として、「災害時の対応について考える」をテーマに、シンポジウムを開催しました。



施設紹介



獨協医科大学病院 バースセンター



獨協医科大学病院では、2018年4月にバースセンターを開設しました。

2012年4月から助産師が自立して分娩を行う院内助産を産科病棟で開始し、約200例の分娩を取り扱ってまいりました。

バースセンターは、新たに病棟を設置し、LDR(陣痛分娩室Labor Delivery Recovery)2室と産後ケアを行うための産後ケア室2室の他に、助産外来としての母子健診室や産前教育を行うスタジオも設置し、妊娠中から産後までトータルにケアが出来るようになりました。アドバンス助産師8名が担当し、妊婦健診時から妊婦さんやご家族の多様なニーズに応え、安全、安心、快適な出産の場を提供できるように力を入れてケアしております。また産後は、母乳育児促進のための乳房ケア、育児に関する相談など退院後の生活を一緒に考え支援を行っており、産後ケア入院(宿泊・日帰り)の準備も整えております。

バースセンターの入り口を入ると、正面の壁面に木とつばめの絵がお出迎えます。つばめは縁起のいい鳥(子宝・安産)とされており、自然な出産をめざし「お母さんと赤ちゃん」が過ごしやすい場所でもありますようにとの願いを込めました。



ことりのさえずりが聞こえるような
のんびりした助産院です
ことり助産院

小嶋由美



2014年に開業して4年目になり「ことり先生」と呼ばれるのにも慣れてきました。助産院には出産や産前産後の心身のケア(整体・リンパケア)、育児相談の方などたくさんの方が来院して下さるようになりました。助産院ならではの、のんびりとした時間を過ごしていただき、「何だか癒されました」「また来ます」と言ってくれ、妊婦さんや育児中の方々の拠りどころになれたようで嬉しくなります。

また、フリーの助産師として、赤ちゃん訪問や産後ケア訪問に出向いたり、未来のパパ・ママ育成のため小中高校・大学生の性教育に向く機会も増えました。マタニティウエディングのサポートや、陣痛タクシー運転手さんへのお話の依頼も、助産師が社会に求められ役立てることなら、と頑張ってお受けするようになっています。

助産院や地域での活動にご興味がありましたら、是非一度遊びにいらしてください。



マタニティウエディング
サポート

